

こんにちは！野木町交流センター「野木ホフマン館」です。

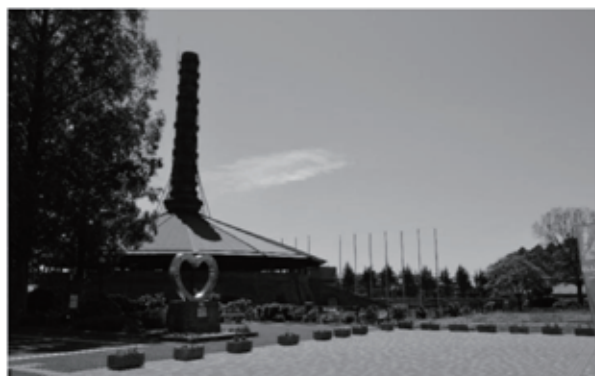
**野木ホフマン館の開館時間が変更になりました。変更後9：00～18：00**

今回の「つどい第2号」でお届けしますのは、概ね次のとおりです。

- 令和3年度「野木ホフマン館」の主な事業計画の概要
- 野木町煉瓦窯のおはなし その②
- 自然豊かな渡良瀬遊水地 その①

### 【ホフマン館事業計画の概要】

野木ホフマン館では、例年多くの来訪者に来ていただけるイベントとして5月の「煉瓦窯春フェスタ」を計画していましたが、新型コロナウイルス感染の収束が見えない中で開催は、感染リスクが大きく、中止にいたしました。10月の「煉瓦窯秋フェスタ」については、新型コロナウイルスワクチン接種も進んでいると思いますので開催に向けて取り組んでまいります。



野木町煉瓦窯



ホフマン館

イベントのほかに各種講座・教室を開催しています。興味のある方は是非ご参加ください。※詳細については町広報をご覧ください。なお、ご希望の講座・教室が定員に達している場合にはご了承ください。

- ◆陶芸教室・・・食器や花器などを自由に制作しながら焼物の基礎が学べます。
- ◆コンテナガーデン教室・・・古い板を再利用しコンテナを作り、植物を育てます。
- ◆歴史講座・・・野木町に関わる歴史などのお話や体験講座を行います。
- ◆このほかに渡良瀬遊水地での植物観察会・野鳥観察会などを計画しています。

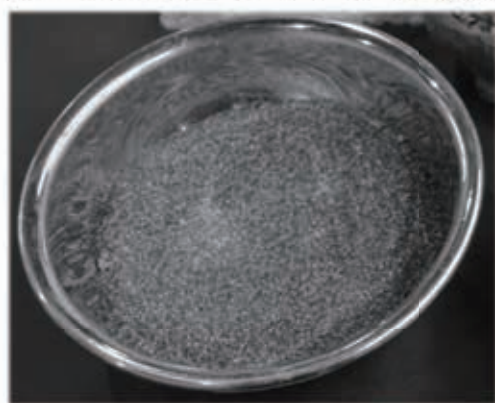


## 野木町煉瓦窯のおはなし その②

野木町煉瓦窯が現在の場所にあるのはなぜでしょうか。煉瓦に適した原料が近くにあり、できあがった煉瓦を運ぶのに便利だから、というのがその理由です。

煉瓦は、粘土と砂をよく混ぜたものを焼いて作ります。現在は渡良瀬遊水地となっている旧谷中村からとれる粘土と、思川の砂が煉瓦の原料に適していたので、その近くが選ばれました。

野木町煉瓦窯で作った煉瓦は、煉瓦の需要が高かった東京方面へも出荷していました。操業を始めた当時は、大量の煉瓦を運ぶには舟に乗せて川を下るのが最適だったため、渡良瀬川や利根川を利用できるこの場所が便利でしたが、時代が下るにつれ、煉瓦の輸送は舟から馬車と鉄道へと変わっていきました。(つづく)



思川の砂



渡良瀬遊水地の粘土

よく混ぜて練る



### 煉瓦原土

これを成型し、乾燥させて焼くと煉瓦の完成です。

成型作業は、はじめは人の手で型抜きしていましたが、後に機械で行うようになりました。

## 経験の積み重ねの数値

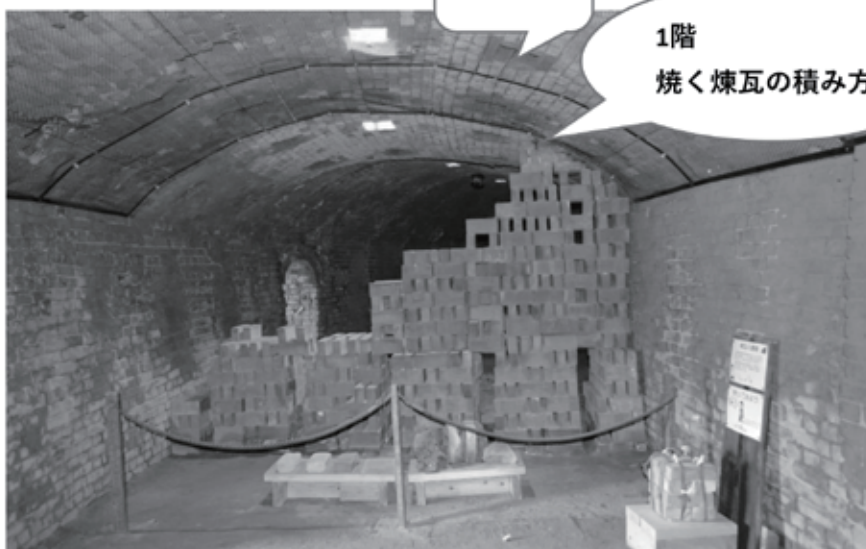
煉瓦窯の中に入ると、窯の中から外を見る「穴」はありません。煉瓦を焼く時には、窯の出入り口はふさがれますので、真っ暗です。「穴」が無いので、煉瓦の焼成中の状態を見ることはできません。どのようにして焼成中の状態を判断したのでしょうか。窯見学ガイドで、このようなお話をすると、ご年配のかたから、こんなお話を聞く事ができました。

「投炭孔から鉄の棒を下して、六寸下がったら焼き上がりだよ」

この数値の「六寸」とは、何度も何度も煉瓦を焼きあげて、その都度、鉄の棒を落とし、寸法を計り、もっとも良い煉瓦が焼成できた時の数値なのでしょう。



2階  
投炭孔



1階  
投炭孔

1階  
焼く煉瓦の積み方

# 自然豊かな渡良瀬遊水地 その①

渡良瀬遊水地は、栃木・群馬・埼玉・茨城4県にまたがる日本で最大級の遊水地です。

渡良瀬遊水地には、渡良瀬川・思川・巴波川の3河川が流入して、下流で利根川に合流しています。

渡良瀬遊水地の目的は、近年頻繁に起きる水害を防ぐための治水、谷中湖に水を貯水し首都圏へ生活用水として補給するための利水を目的に整備されました。



渡良瀬遊水地の面積は、約33km<sup>2</sup>で野木町の面積より大きいのです。各県の面積は、栃木県が約9割の29.8km<sup>2</sup>、残り1割を3県で占めています。

渡良瀬遊水地をまたがる市町の面積は、栃木市が約23.5km<sup>2</sup>、次いで野木町約3.7km<sup>2</sup>、小山市約2.6km<sup>2</sup>、群馬県板倉町1.4km<sup>2</sup>、古河市1.0km<sup>2</sup>、埼玉県加須市0.8km<sup>2</sup>です。

今回は、渡良瀬遊水地の成り立ちの一部をお届けいたします。

## 渡良瀬遊水地の近況

渡良瀬遊水地の春の風物詩である「ヨシ焼」が残念ながら天候不順のため、行われませんでした。ヨシ焼が行われなかったのは、2011年（東日本大震災）、翌年2012年以来です。自然環境の保全を図るためにもヨシ焼は必要です。ヨシ焼は、野火による火災防止、害虫駆除、また多様な生態系の基盤となっています。渡良瀬遊水地には多様な植物が生育し、貴重な植物も多く見られます。晴れた日に足を運んではいかがでしょうか。

## 野木町交流センター

(野木ホフマン館)

開館日：火曜日～日曜日

9:00～18:00

(国民の祝日開館、翌平日閉館)

〒329-0114

野木町大字野木3324-10

☎ 0280-33-6667